

白熱 (1949)

WHITE HEAT

メディア 映画
ジャンル 犯罪 ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 114分
初公開日 1952/12/27
公開情報 WB

【解説】

この映画や「死の谷」など、ウォルシュの絶好調時を思うと、今のハード・アクションなんてちゃんちゃらオカシくって観てられない。暴力は溢れてるけど、映画自体の活動（アクション）が無いんですよ、今の映画は。もう出だしの列車強盗からして凄いよ、こっちは。汽車がトンネル入って、アッと思うと一件落着してんだ。とにかくキャグニー、本気で狂ってるもの。超マザコンでさ、母ちゃんの言うことは何でもハイハイよく聞くのに、仲間の意見には耳も傾けない独善ぶり。唯一信頼を置くムショ仲間が、警察のスパイ（E・オブライエン）ってのも皮肉で、この辺の伏線の張り方は見事。女房（V・メイヨ）と部下（S・コ克蘭）の姦通を知るや、あっさり彼奴をバラし、母も死んだヤケのやんばちで、大化学工場の給料ドロのヤマをふんで、警官隊とめちゃくちゃな銃撃戦をし、親友の裏切りもなんのその、最後は呵々と笑って、石油タンクに火を放って自爆しちゃう。犯罪者の鑑だね。ここまで徹底してワルやってくれと、なんかスガスガしい。ウォルシュ演出（得意の叙情は一切無し）も超特急で、有無を言わせぬとはこのことだ！ 観てるうち、自分もバリバリ人を殺してる気にさせるヤバ〜い映画。後に「法律対ギャング」としてリメイク。

【クレジット】

監督	ラオール・ウォルシュ	Raoul Walsh
製作	ルイス・F・エデルマン	Louis F. Edelman
原案	ヴァージニア・ケロッグ	Virginia Kellogg
脚本	アイヴァン・ゴッフ ベン・ロバーツ	Ivan Goff Ben Roberts
撮影	シド・ヒコックス	Sid Hickox
作曲	マックス・スタイナー	Max Steiner
出演	ジェームズ・キャグニー ヴァージニア・メイヨ スティーヴ・コ克蘭 エドモンド・オブライエン マーガレット・ワイチャーリー フレッド・クラーク	James Cagney Virginia Mayo Steve Cochran Edmond O'Brien Margaret Wycherly Fred Clark